

福祉サービス第三者評価結果報告書（公表用）

【受審事業所情報】

事業所名称	浪速さくら保育園
運営法人名称	社会福祉法人 西成若草会
福祉サービスの種別	保育所
代表者氏名	園長 濱 和子 理事長 小澤 力
定員（利用人数）	80 名
事業所所在地	〒 556-0021 大阪市浪速区幸町3-8-2
電話番号	06 - 6562 - 7711
FAX番号	06 - 6556 - 9252
ホームページアドレス	http://www24.atpages.jp/~sakurabun
電子メールアドレス	naniwa-sakura@ae.wakwak.com

【評価機関情報】

第三者評価機関名	(一財)大阪保育保育運動センター 福祉サービス第三者評価事業室
大阪府認証番号	270042
評価実施期間	平成26年9月1日 ～ 平成27年2月7日
評価決定年月日	平成27年2月7日
評価調査者（役割）	0701CO43 (運営管理・専門職委員) 0901CO24 (その他) 0801CO24 (専門職委員) () ()

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

第三者評価結果の概要

評価機関総合コメント

・1970年さくらんぼ共同保育所が双子の赤ちゃんをかかえるお母さんの願いから誕生し、36年間保護者と共に保育を続けてきました。
・2007年6月0・1歳児20名の認可園として「本園」が誕生しました。（市の認可定員は0歳～5歳の20名）
・2008年4月2歳児クラス誕生。（保護者から5歳までの希望がだされる）分園開設のために保護者と場所探しに奔走。
・2009年4月南堀江（西区）分園開設。定員40名に。
・2012年4月幸町分園誕生。60名定員に。
・2013年4月幸町分園整備（3・4・5歳）80名定員に。
・2014年4月～現在

本園	0・1歳児
幸町分園2階	2・3歳児
幸町分園3階	4・5歳児
南堀江分園	子育て支援に使用

認可されて7年の間に地域住民の要望に応えるべく、以上のように努力を重ねてきた保育園です。保育理念には、

1. 児童福祉法の理念に基づき、子どもの豊かな発達を保障する保育を行ないます。
2. 子どもの最善の利益を守るため、保護者、地域、保育園が連携した事業を進めます。
3. 日々の保育活動を通じ、地域の貢献に努めます。

とあり、まさに理念に基づいた実践の7年間であると言えます。3ヶ所に分かれている上に、ビルの2階3階での保育と物理的に厳しい部分はあるものの施設の中は収納などの工夫をし子ども達にとって楽しい居場所になっています。園長はじめ職員も保護者も、子ども達と共に“保育園大好き”感が伝わってくる保育園でした。園長も何度も強調していましたが「1か所で保育を」の希望がいつか実現する事を期待します。

特に評価の高い点

1. 本園、分園（2カ所）と分散し、園庭もない環境条件の中、これを跳ね返す保育の努力、管理・運営の工夫が見られ、子ども達の生き生きした表情がそれを物語っていました。
2. 看護師、栄養士（2名）を配置し健康管理・食育等を保育の中でしっかり位置づけているのも子どもの生活の安定、保育の質につながっています。
3. “待機児解消”と在園児の保育環境の改善を目指し、保護者と共に場所探し、分園設置、5歳までの保育実施にこぎつけました。条件が悪い中でも保護者の信頼につながっています。

改善を求められる点

- ・中長期計画については、予算案も含め充実を望みます。
- ・本園の前の歩道と分園入口のところの安全対策の検討を望みます。
- ・土曜日の主食持参について検討をしてください。

第三者評価に対する事業者のコメント

開園8年目で受審することが出来ました。

浪速さくら保育園は、その前身であるさくらんぼ共同保育所を「公的保育制度のもとで安心して預けられる保育をこども達にも保護者にも」と地域の人たちの願いを集め設立しました。大阪市を中心部で、マンションの1階での厳しい条件のもと20名定員で開園し、保育理念・目標は共同保育所時代の36年間の保育を引き継ぎ、こども達や大人達が笑って暮らせる保育園を目指して来ました。

今回の受審では、訪問調査や事前・当日の聞き取りを通して、保育サービスの基本的な考え方を学びました。自己評価表の取り組みの中では、全職員が保育園の課題に気づき、保育園の良い点も再認識することが出来ました。

具体的には、住民の保育要求に corres 応するため、2年ごとに分園を整備して定員拡大を行い、保育内容の向上については、保育観の一致を目指し、幼児クラスの保育内容作りなど取り組んできたことです。受審の取り組みを通して、保護者への事業内容の周知のあり方、透明性の高い組織運営づくり等の課題も明らかになりました。

今後、本園と分園の保護者間の交流が一層図れるように、保護者会とも各行事内容を検討し、保護者のつながりが高まるよう工夫したいと思います。

今回指摘のあった保育園前の歩道の安全対策や土曜日の主食持参についても保護者が安心して働けるよう改善の方向で検討していきたいと考えます。

今回の評価結果や保護者アンケートで寄せられた声をもとに、今後も地域・保護者・職員が一同にこども達の最善の利益のため・安全で豊かな保育のために取り組みをすすめます。

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

判断基準項目	評価結果
Ⅰ-1 理念・基本方針	
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
評価機関コメント	
法人・保育所の理念、基本方針及び保育目標は、「パンフレット」「入園のしおり」等に明記しています。これら内容は、職員には「職員ハンドブック」の配布と職員会議の討議を通じ周知し、保護者には入園説明会など様々な機会を通じ文書配布と口頭説明により周知しています。また、地域の諸団体には地域ニュースを通じて周知しています。	

判断基準項目	評価結果
Ⅰ-2 事業計画の策定	
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	b
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	b
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a
Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	a
Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	b
評価機関コメント	
中・長期計画は策定しているものの、収支計画への反映が十分でない状況がみられます。事業計画についても中・長期計画との関係において予算面での整合性などいっそうの充実をはかることを望みます。 計画策定は、職員会議等を通じ組織的な見直しを行い、職員に周知しています。保護者への周知については、口頭のみとなっていることから、より理解しやすい工夫を期待します。	

判 断 基 準 項 目		評価結果
I - 3 管理者の責任とリーダーシップ		
I - 3 - (1) 管理者の責任が明確にされている。		
I - 3 - (1) - ①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I - 3 - (1) - ②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I - 3 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I - 3 - (2) - ①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I - 3 - (2) - ②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a
評価機関コメント		
<p>管理者等の職務は「職員ハンドブック」の分担表に明記し、管理職会議等においても確認をしています。遵守すべき法令等については、施設長自ら積極的に研修を受け、職員周知も行なっています。質の向上については、管理職として保育提供が理念・方針に即したともなっているか把握を行うと共に、職員集団としての向上をめざした運営を心がけています。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	b
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	b
評価機関コメント		
<p>社会福祉事業を取り巻く動向や地域情報を把握するために各種会議や研修に積極的に参加すると共に、子育て支援活動を通して地域の要望の把握に努めています。課題と中・長期の収支計画との関係においては、理事会と職員集団での組織的分析を期待します。</p> <p>外部監査は、実施していませんが経営状況の分析については専門家と相談しながら改善の努力を行っています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅱ-2 人材の確保・養成		
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
Ⅱ-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	a
評価機関コメント		
<p>看護師、栄養士2名を配置し職員の定着率も良く、自己評価や個人面談を通じ必要な人事管理を行っています。2007年の認可化後毎年のように施設の拡充・発展を行ってきました。その影響で職員不足にならないように人員配置の努力をしています。今後人員体制についても中長期の展望のもとにプランをもつことを期待します。</p> <p>人事考課に関する一文は存在しますが、客観的な基準づくりや透明性のより一層の理解と工夫を求めます。</p> <p>職員の就業状況や有給の取得率などを把握すると共に、メンタル面も含んだ看護師による健康相談など、健康管理への配慮もしています。</p> <p>実習生の受け入れについてはマニュアルなども整備し、職員ハンドブックに明記しています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
II-3 安全管理		
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a
評価機関コメント		
事故や感染症の発生に対しては危機管理マニュアルや保健安全チームも整備し、ヒヤリハットも生かして安全管理に努力しています。災害対策も地震・津波などさまざまな事例へ対応できるよう避難訓練を行い、水や非常食など災害時の非常用品の備蓄にも努めています。		

判 断 基 準 項 目		評価結果
II-4 地域との交流と連携		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	b
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a
評価機関コメント		
園と地域が子どもを通してつながりあえるような取り組みを積極的に進めています。所属する町会の役員と「浪速さくら保育園地域協議会」を開催し、情報交換や交流など地域団体との連携を深める努力もしています。また、中高生の保育体験の受け入れも行っています。 施設の物理的条件および自治体の方針（近隣保育所で実施しているため当園においては、実施整備計画地域にあたらぬ）により一時保育事業はしていませんが、今後も地域ニーズ把握への努力と対応を期待します。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ- 1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ- 1 - (1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ- 1 - (1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ- 1 - (2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ- 1 - (2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a
Ⅲ- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ- 1 - (3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ- 1 - (3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
Ⅲ- 1 - (3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a
評価機関コメント		
<p>「児童福祉法の理念に基づき、子どもの豊かな発達を保障する保育」を行い「子どもの最善の利益を守る」ことを保育理念として掲げ、保育方針にも「年齢ごとの発達をおさえ、一人ひとりの子どもを大切にした保育」を進めることを明示しています。この基本姿勢を貫く努力が保育観察や記録、作品展などの取組の中でもうかがうことができました。</p> <p>プライバシー保護に関する規定は職員就業規則、実習生受け入れプログラムに明示し、保護者に対してはしおり「浪速さくら保育園」に記載、入園時に説明しています。</p> <p>利用者満足の向上に組織的、計画的に取り組んでいます。食育を例にあげると、春の離乳食懇談会・保育参加や作品展での試食なども保護者の意見を取り入れ工夫しています。その関連した記録には「保護者の話を聞き、気持ちに寄り添い、出来ることからアドバイス出来るよう家庭とも連携し、また職員同士も連携し栄養士の立場から、子どもを真ん中において・・・子どもの育ちを考えていきたい」と記しています。当評価機関のおこなった利用者（保護者）アンケートの自由記述からも利用者満足の向上のために応えていることが把握できます。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-2 サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a
評価機関コメント		
<p>職員ハンドブックには、保育理念や保育目標・保育方針を保障するための子どもの活動と具体的な保育者の活動を記載しています。毎月の職員会議、クラス会議、本園・分園責任者会議、行事担当者会議、給食会議、非常勤会議、総括会議（年2回）等を通して子どもの状況を話し合い保育活動の確かめと見直しを組織的に取り組んでいます。また、園外研修だけでなく、保育内容や健康・衛生等の園内研修（特に乳児保育から幼児保育へ拡大するにあたって講師の助言を受ける）を積極的に取り組んでいます。</p> <p>一人ひとりの子どもの記録を作成し、場面記録、クラス日誌（連絡ノート）、保健安全の基本となる記録など、適切に記録管理をしています。第三者評価を受審するにあたり職員が組織的に関わりこれまでの園の特徴やすぐれた点を確認しました。分園と本園に分かれていることから一層の職員間での情報の共有化の努力に期待します。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
評価機関コメント		
<p>法人理念・保育理念・保育方針・保育目標くめざす＜こども像を前面に記載したパンフレット、園のしおり、ホームページの作成等で園の情報を発信し、メールを使っての問い合わせにも応じています。当評価機関が行った利用者（保護者）アンケートでも「入園時の説明や、園の子どもたちの様子を見て、子どもを預けることの不安が解消したか」の問いに98%の利用者が「はい」と答えています。他の園への変更については、窓口が園長であることを含め対応について職員ハンドブックに記載しています。園のパンフレットでは、「相談受付について」の項目がありますが、転園、退園後の保護者の不安な気持ちに配慮した内容となることを期待します。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ- 4 サービス実施計画の策定		
Ⅲ- 4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ- 4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ- 4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ- 4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ- 4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
評価機関コメント		
<p>利用者のアセスメントに始まり、子どもの個別計画・指導計画の作成、見直しなど、子ども一人ひとりの把握から決められた様式に基づいて組織的に実施計画の作成をしています。サービス実施計画の根本となる子どもの状況の把握については、入園時における担任の家庭訪問・看護師も入った身体状況の把握（健康管理ノート・発達記録）などきめ細かく、丁寧に実施しています。特に保育課程に基づく指導計画（月案）は、前の月の「子どものようす」を場面記録として具体的に記すと共に評価・考察し、たてています。乳児クラス（0，1，2）においてはその月案には一人ひとりの子どもの目標をたて、子どもの育ちを保障するために努力しています。</p>		

児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準)

判断基準項目		評価結果
A-1 保育所保育の基本		
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a
A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a
A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかがわれるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a
評価機関コメント		
<p>保育課程は保護者の労働実態等も考慮しながら職員全員の参画のもとに作成しており、毎年見直し（年度末総括の時）をしています。乳児保育からスタートしている当園の経過もあり「本園」での保育は、0歳は年齢差も考え2部屋を使用した2グループ保育をしており、1歳の部屋と合わせて3部屋を使用しています。保育室は間仕切りや収納方法など、使い易いような工夫が各所に見られます。園庭はありませんが、園の裏続きに公園があり毎日戸外に出かけたり、リズム等で体を動かすなどの保育の努力が見られます。</p> <p>2歳以上の保育は「本園」から歩いて5分くらい離れたビルの、2階3階を使用しています。園庭のない所ですが、子どもたちの戸外あそびを意識的にしています。3歳児の保育の中では4、5歳児の取組にとっても興味を示す子どもたちの思いを取り入れた保育の展開を観察しました。保育活動の中では子どもの主体性を大切にしています。例えば、当番活動や自由遊び、延長保育の場面でも「…しよう」「…したい」という子どもの言葉を待ち、受け止める保育者の姿勢がうかがえました。また、少人数クラスでの保育で丁寧な個々への対応が行われています。</p> <p>職員の自己評価は勿論のこと各クラスの総括が子どもたちの姿、成長をしっかり捉えて書かれています。職員同士具体的な子どものエピソードを出し合って研修し、資質向上につなげる努力をしています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-2 子どもの生活と発達		
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a
A-2-(1)-②	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-2-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	a
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A-2-(2)-②	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-2-(2)-③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a
A-2-(2)-④	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-①	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
A-2-(3)-②	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a
評価機関コメント		
<p>子ども一人ひとりの状況に応じた保育の工夫をし、保護者との連携も丁寧にしています。長時間保育の対象となる子どもについての引き継ぎは、「今日の保育」を通じておこない、子どもの生活を寸断しないように配慮しています。</p> <p>配慮を必要とする子どもへの対応は専門機関との連携もとりながら小集団保育の条件を活かして行われています。</p> <p>看護師の配置もあり毎月ほけんだよりを発行し、子どもの健康管理、職員の健康チェックもしています。</p> <p>本園、分園それぞれに調理室があり、栄養士の配置の中で“五感を使いながら食に親しむ環境”を大切にしています。アレルギー対応では別容器で渡すなど誤食が起こらないように確認しています。0歳からの食後の歯磨きも、丁寧にしているのを保育観察の中で確認しました。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-3 保護者に対する支援		
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-3-(1)-②	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a
A-3-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a
A-3-(1)-④	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a
評価機関コメント		
<p>食事に関する家庭との連携は、食育計画表、献立表、給食だより、レシピの配布等の発行だけでなく、0歳は年度初めと9月に離乳食懇談や試食などを実施しています。他のクラスも懇談会や作品展で食事相談や試食など取り組んでいます。</p> <p>0歳～5歳まで連絡ノートを使用し、担任と保護者のコミュニケーションを取っています。年3回の懇談会に加え、全クラスの保育参観や乳児クラスの保育参加の機会も作られています。</p> <p>年度末発行の文集「さくらっこ」の中でクラスのまとめや保護者からのメッセージも載せています。</p> <p>「作品展のしおり」は、園の子どもの発達についての考え方を解り易く説明しており、保護者との共通理解を促進するのに有効です。虐待予防に対して「ハンドブック」の中にきちんと整理し、職員に周知しています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-4 子どもの発達・生活援助		
4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる	a
評価機関コメント		
<p>体罰の防止については「ハンドブック」や就業規則に記載し、日常的にも不適切な対応をしないよう話し合う機会を持っています。</p>		

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	保護者
調査対象者数	74世帯
調査方法	保護者に園より配布してもらい直接投函

利用者への聞き取り等の結果（概要）

74世帯中61世帯から回答があり、82.4%と高い回収率でした。
「はい」「いいえ」2者選択の設問が17項目あるなかで多くは「はい」（90%以上「はい」が15項目）と答え、保護者は保育園に対して全体的に肯定的に受け止めていることが伺えます。
「園に希望すること」「感じていること」など自由記述欄には回答中75.4%の保護者がコメントを寄せており、保育園への関心の高さの表れといえましょう。
主な自由記述では施設条件に関する要望が一定あるものの、『本当にきめ細やかで子ども達はもちろん保護者にもよりそったすばらしい園です。』『少人数制のため子ども1人1人に目が行き届いており、子どもたちものびのび楽しく通っています。』『先生一人ひとりが熱心に保育に専念して下さっていて子どもとの信頼関係は元より、保護者とも大変根強いです。』と保育への安心感と保育園に対する信頼感の高さが寄せられていました。
「いいえ」の最も多い問いが「保護者同士の交流やつながりはありますか」（「いいえ」16.4%）となっていることから、さらなる保護者同士のつながりを高める工夫を期待します。